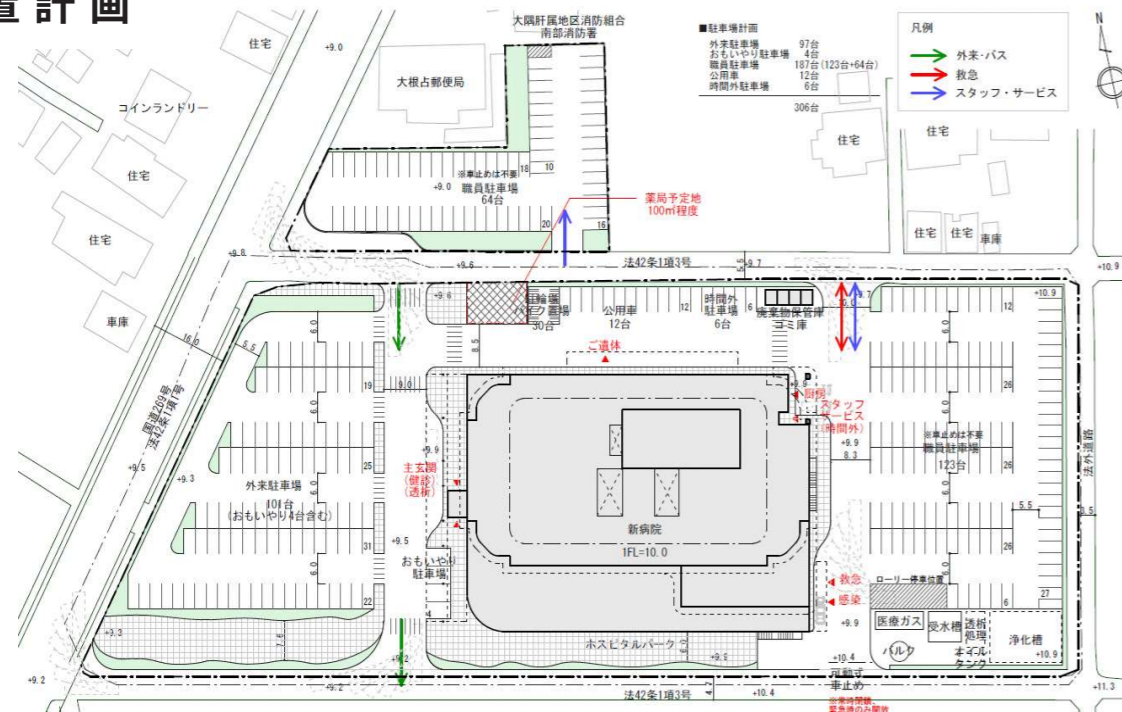


### 3. 配置計画

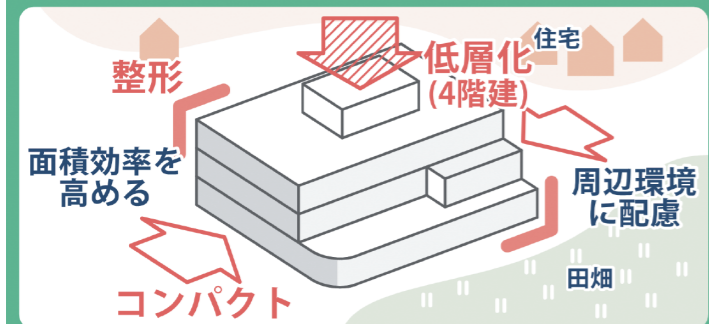


- 近隣との間隔を十分確保するため、建物は敷地の中央に配置します。
- 両町から来院しやすいよう、国道側に一般駐車場と主玄関を設けます。
- 一般患者用駐車場と職員駐車場を明確に分け、利便性を向上します。
- 車両の混雑防止や安全面への配慮から、一般車やバスと、職員や救急車などの入口を分離して設けます。
- バスでの退院者が利用しやすいよう、玄関前にゆとりのある車寄せを確保します。
- 敷地の南側にホスピタルパークを配置し、リハビリなどで活用できる場所とします。

### 4. 新・肝属郡医師会立病院の設計コンセプト

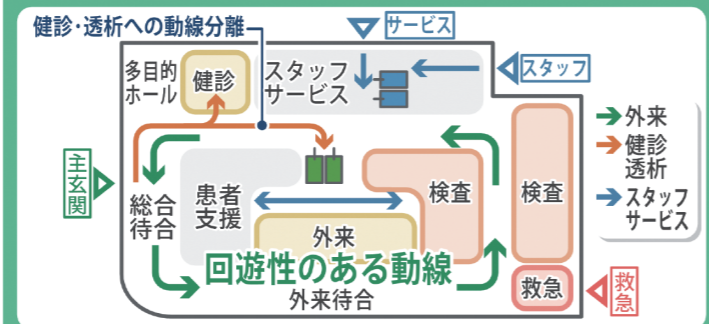
#### 01 シンプルでコンパクトな病院づくり

・面積効率の良い整形かつシンプルな平面計画と、周辺環境に配慮した4階建てのコンパクトな低層型病院



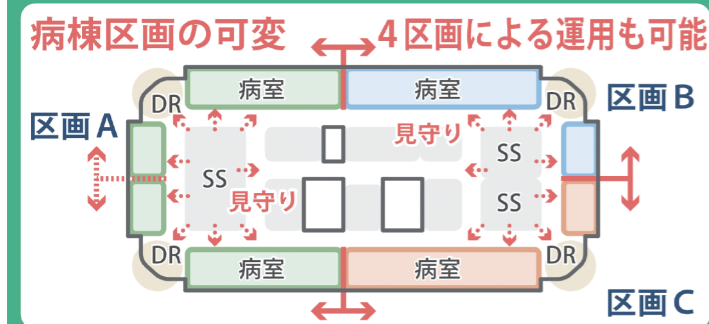
#### 02 回遊性のあるワンフロア外来

・回遊性のあるわかりやすい外来診療部門構成とし、外来、健診、スタッフ、サービスの動線を完全分離



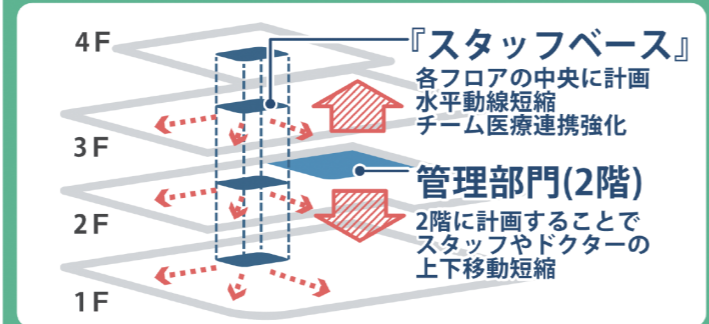
#### 03 将来変化に伴い柔軟な運用が可能な病棟

・将来の人口減少や超高齢社会に対して、病床数や病棟種別・区分の変化に柔軟な運用が可能な病棟計画



#### 04 スタッフの動線短縮と連携促進

・全フロアの中央に『スタッフベース』を計画し、各部門へのスタッフ動線の短縮、部門間連携の促進を実現



# 肝属郡医師会立病院の移転再整備に向けて 新病院の基本設計が終了



肝属郡医師会立病院の再整備に向け、昨年6月に策定した「肝属郡医師会立病院再整備基本計画」に基づき進められてきた新病院の基本設計が終了しました。4月26日には、錦江町・南大隅町議会合同の全員協議会が開催され、基本設計の概要等についての説明・協議が行われました。両町議員からは、昨今の建設資材価格の高騰による事業費への影響や医師確保の問題など、様々な意見が出されましたが、この基本設計を基に実施設計に進むことが了承されました。今回は、新病院の概要や設計コンセプトなどについてお伝えします。

### 1. 新病院の概要

場所	錦江町城元（大隅肝属地区消防組合 南部消防署付近）
面積	敷地面積：15,768㎡ 延床面積：9,196㎡ ※基本計画 9,200㎡
建物階数	4階建（鉄筋コンクリート造）※基本計画 3階＋塔屋1階
病床数	132床
診療科 (13診療科)	内科、脳神経内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、血液内科、外科、消化器内科、肝臓内科、整形外科、眼科、泌尿器科、透析内科
事業継続計画	災害時においても病院の機能を3日間程度維持できる設備を備える。
整備費合計	約5,863百万円 ※基本計画 5,870百万円 うち建築工事費 約4,197百万円 ※基本計画 約4,201百万円

### 2. 事業スケジュール

	2023年（R5）			2024年（R6）			2025年（R7）			2026年
	4	7	10	1	4	7	10	1	4	
実施設計	→									
施工業者選定				→						
建設工事						→				
開院										3月◎